



日本福祉文化学会
第31回全国大会《沖繩》

2月27日(土)

沖繩県那覇市 & オンライン で行います！

福祉文化がつなぐ 沖繩の多様性

～過去・現在・未来から考える～

沖繩の魅力はその多様性にある。また、一番ヶ瀬康子先生がお創りになられた「福祉文化」もまた多様な切り口を持った概念である。本大会では、過去・現在・未来の時間軸から、歴史（戦争や基地問題）、文化（琉球文化・世界遺産）、経済（観光や人口）、生活（女性や地域）を捉え直し、これら沖繩の多様性を「福祉文化」でつないでみたい。

日 時：2021年 2月27日(土) の午後1時～

※福祉文化実践学会賞授与式は午前11時30分から行います

会 場：那覇セントラルホテル「プルメリア」
(沖繩県那覇市牧志2-16-36)

テーマ：福祉文化がつなぐ沖繩の多様性
～過去・現在・未来から考える～

内 容：1. 基調講演 平良 啓子 氏（対馬丸生還者）

学童疎開船“対馬丸”を語る

2. 特別講演 上里 隆史 氏（浦添市立図書館館長）

沖繩の世界遺産について

～＜首里城＞を中心に～

3. 研究発表

形 式：ハイブリット（対面とオンライン [zoom] による併用）

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、対面による参加者は50名
を上限とします（先着順）

参加費：対面は1,000円（当日支払い）、オンライン [zoom] は無料